



天満荘について

鳥瞰図では、ジオラマ模型で制作した庭や母屋を写真で紹介し、建物の構造や敷地、庭に関するデータをあわせて掲載しています。また、平面図では、部屋の配置や広さなど、天満荘の空間構成を図で分かりやすく示しています。

鳥瞰図



竣工 : 1925年(大正14年)
構造 : 木造平屋建 寄棟造
延床面積 : 205.3 m²
柱 : 155 本
梁 : 56 本
桁 : 26 本

海拔 : 30 m
敷地面積 : 2849.8 m²
庭木 : 178本(17樹種)

平面図



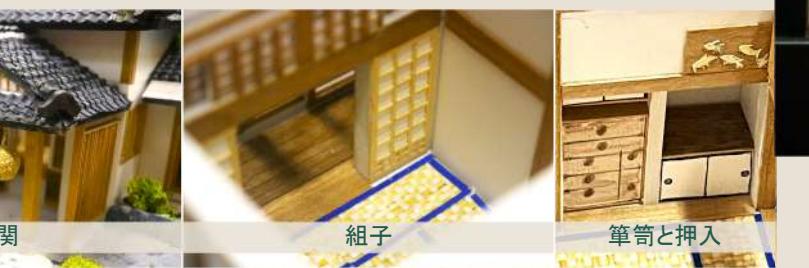
現地測量

2025年6月、軸組模型とジオラマ模型の制作に向けて、天満荘で3日間の現地調査を行いました。軸組班は屋根裏や床下、室内を調べ、建物を支える構造材を一つひとつ計測しました。一方、ジオラマ班は庭に入り、地形や樹木の配置、特徴を丁寧に調査しました。ここで得られた記録をもとに、模型を制作しています。

ジオラマ模型

ジオラマ模型は、天満荘全体を1/45の縮尺で制作しています。建物は、ふすまの組子や瓦一枚一枚まで細部にこだわりました。また、庭木についても、樹種ごとの違いが分かるよう特徴を捉えて表現しています。

ぜひ、実際の天満荘と見比べながらお楽しみください。

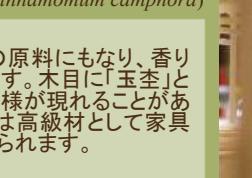


ミニ樹木紹介

タイサンボク (*Magnolia grandiflora*)



クスノキ (*Cinnamomum camphora*)



軸組模型

軸組模型は、天満荘の木造構造を1/25の縮尺で再現しています。特にこだわったのは、小屋裏にある梁や桁の部分です。湾曲した小屋梁や飛び梁は、バルサ材を削りながら丁寧に表現しました。部屋の空間だけでなく、普段は見ることのできない床下や小屋裏まで忠実に再現しています。また、屋根を支える垂木は、玄関や風呂場を中心に細部まで作り込んでいます。

ぜひ、細かなつくりにもご注目ください。

